



JIC インフォメーション

第 181 号 2014 年 11 月 10 日

年 4 回 1・4・7・11 月の 10 日発行

1 部 500 円

発行所: JIC 国際親善交流センター 発行責任者: 伏田昌義

<http://www.jic-web.co.jp>

東京オフィス: 〒160-0004 東京都新宿区四谷 2-14-8 YPC ビル 7F TEL: 03-3355-7294 jictokyo@jic-web.co.jp

大阪・ロシア留学デスク: 〒540-0032 大阪市中央区天満橋京町 2-13 ワキタ天満橋ビル 812 号 TEL: 06-6944-2341

はりねずみのジエーニャ



ロシア・旧ソ連 国際交流誌



旅行・留学のお問い合わせはいつでも気軽にJICへどうぞ!
<http://www.jic-web.co.jp>

— 冬のコローメンスコエ、ヴォズネセーニエ教会(主の昇天教会) —

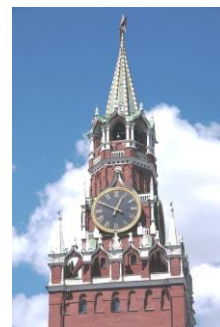
《特集》 ロシアの世界遺産
モスクワの世界文化遺産めぐり 2P
モンゴル訪問記 西脇邦雄 . . . 6P
《本の紹介》 ロシア縦横無尽 (池田正弘著) . . . 9P
検索アプリ 露語ミニ事典 10P

追悼・鈴木啓介さん「永遠の教師」 11P
《ジーマの町歩き》
高速列車アレグロ号／生まれ変わったソチ 12P
【ロシア不思議体験】 『お客様』 . . . 白井秀治 . . 15P
JIC ロシア語留学 4 月生募集締め切り迫る 16P

JIC では、Jクラブ(JIC 友の会)会員を募集しています。
年 4 回の情報満載のインフォメーションをお届けします。

《特集》ロシアの世界遺産

モスクワの文化遺産めぐり



(上)スパスカヤ塔の時計盤

今年の 6 月に群馬県・富岡製糸場が世界文化遺産に登録されました。日本には古都京都、奈良の文化財など 14 の文化遺産と、屋久島、知床半島など 4 つの自然遺産がユネスコに登録されています。では、ロシアの世界遺産はいくつあるでしょうか。2014 年 11 月 1 日現在、ロシアには 15 の文化遺産、10 の自然遺産が登録されています(一覧表は 5 ページに掲載)。今回は、主に首都モスクワとその周辺の世界遺産をご紹介します。



モスクワ川から見たクレムリンの城壁と内部の建築群

モスクワには、1990 年に登録された「クレムリンと赤の広場」と、2004 年に登録された「ノヴォデヴィチ修道院の建造物群」、そして「コロームスコエの主の昇天教会」(1994 年登録)の三つの世界文化遺産があります。

モスクワのクレムリンと赤の広場

クレムリンとは、「城塞」の意味。中世ロシアにおいて、多くの都市は中心部にクレムリンを備えていました。モスクワ以外では、ノブゴロド、ニジニ・ノブゴロド、アストラハン、カザンなどのクレムリンが有名です(カザンのクレムリンは 2000 年に文化遺産登録されています)。

モスクワのクレムリンは、全長 2.25km、20 の塔門を備え、内部には様々な時代の宮殿や寺院(大聖堂)が林立しています。城壁の高さは 5~19m、厚さは 6m もあります。12 世紀に原型となる城塞が築かれ、15 世紀末には現在とほぼ同じ外観のクレムリンになったと言われています。

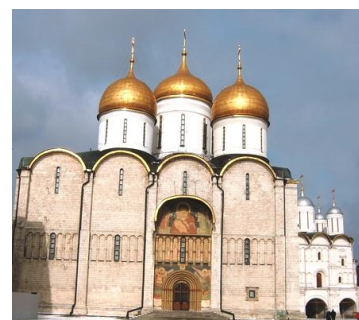
クレムリンの城壁にそびえる 20 の尖塔

クレムリンの城壁の上には 20 の塔門がつながっています。もっとも高い塔はトロイツカヤ塔で 80m。先端には赤くルビー色に輝く星が取り付けられています。この塔門がクレムリン観光の入口になります。赤の広場に面したスパスカヤ塔には 17 世紀に時計が取り付けられました。スパスカヤ塔は現在、公用入口となっており、政府要人や外国の賓客が黒い車に乗って出入りしています。

クレムリン内には建造物と見どころがいっぱいです。トロイツカヤ塔から中に入り、クレムリン大会宮殿の巨大な建物を右手に見ながらまっすぐに行くと、教会が建ち並ぶ大聖堂広場に出ます。

ウスペンスキー大聖堂(生神女就寝大聖堂)/1479 年

帝政時代には、ロシア皇帝(ツァーリ)の戴冠式がここで行われました。現在でも、ロシア連邦大統領就任式でロシア正教会による祝福がこの大聖堂で行われています。



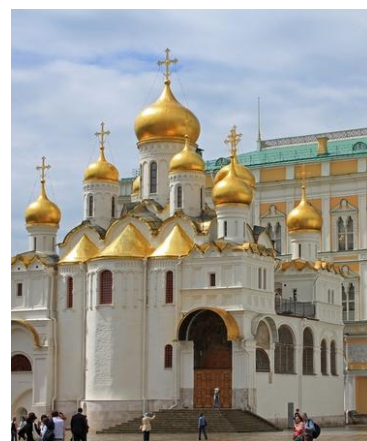
アルハンゲリスキー大聖堂/1509 年

5 つの丸屋根を持つ大聖堂。イワン雷帝(1530~1584)ほか、歴代皇帝の納骨堂となっています。

ブラゴヴェシチェンスキー大聖堂/1489 年

皇帝、皇后の私的な礼拝所として使用されました。建立当初は 1 個だった丸屋根はすぐに 3 個に増やされ、その後もさらに追加、現在では 9 個の丸屋根が金色の輝きを放っています。

このほか、大聖堂広場には、総主教宮殿、ヴェルホスパスキー聖堂、チェルモノイ宮殿附属教会、リザパラジェニヤ教会、十二使徒教会、ラザーニ教会などがあります。



大聖堂広場の教会群の西にはロシア皇帝(ツァーリ)の宮殿が立ち並んでいます。

グラノヴィータヤ宮殿／1491 年

主玄関が白い多面体の石で飾られているためグラノヴィータヤ(多面体)の名がついています。公式行事、外国使節団の接見、レセプション会場などに使われた宮殿です。

チェレムノイ宮殿／1636 年

16 世紀に建設された 2 階建て宮殿の上に 3、4 階が増築されています。この宮殿は歴代皇帝(ツァーリ)の御所でした(一般公開はされていません)。

クレムリン大宮殿／1849 年

全長 125m、奥行き 63m もの大建築。外観は 3 階建てですが内部は 2 階建てです。1 階は皇帝の私室、2 階は国家行事に使われた大ホールとなっています。内部には 19 世にの家具、シャンデリア、絨毯、絵画、彫刻などの美術工芸品がふんだんにちりばめられています。

国立クレムリン宮殿(旧クレムリン大会宮殿)／1961 年

クレムリン内の最も新しい建物で、ソ連時代に完成。ソ連共産党大会や中央委員会総会に用いられた 6000 人収容の大建築です。90 年にクレムリンが世界遺産登録された時、この宮殿のみがその近代性のために指定から外されました。

武器庫(武器宮殿、アルジェイナヤ・パラータ)

武器庫という名前ですが、後に戦利品やロマノフ家の宝物を保管するようになり、1720 年にピョートル大帝の命令によって美術館となりました。武器庫の一角に、ダイヤモンドをちりばめた王冠や、世界一大きなダイヤ「オルロフ」を展示する「ダイヤモンド庫」があります。

大聖堂広場の東側、赤の広場に面した城壁の内側に立ち並ぶ建物群は、現代ロシアの政治中枢です。

ロシア大統領府(元老院)

帝政時代は元老院。ソ連時代になって、レーニン以来、歴代指導者の執務室となり、ソ連崩壊後はロシア大統領の官邸として使用されています。

ロシア大統領官邸

1930 年代初めに建造。ソ連時代はソ連最高会議幹部会館でした。大統領府など周囲の建物と同じ黄色の外観で統一され、よく調和がとれています。

アレクサンドロフスキー庭園

クレムリン北西部の外側にある公立公園・アレクサンドロフスキー庭園には無名戦士の墓があり、永遠の火が灯されています。結婚式を挙げたカップルが献花に訪れる定番地になっています。



最後にクレムリン内の観光スポットをもう二つ。



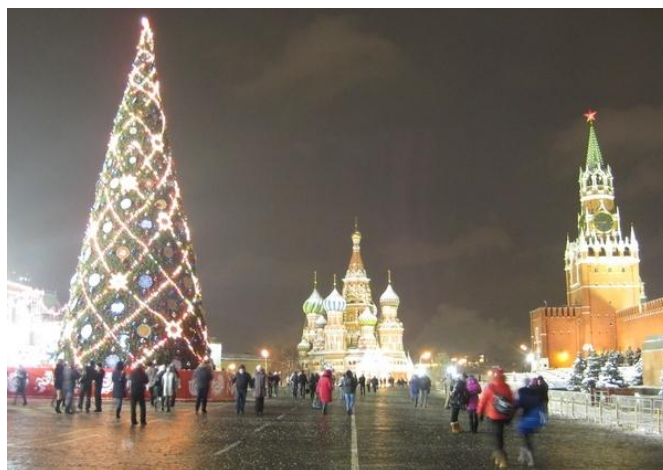
砲されたことはありません。

鐘の皇帝

1735 年作、高さ 6.14m、重量 200 トン、世界最大の鐘。鑄造中に火災に遭い、消火の水で一部分が欠け落ちて、未完成のまま終わったものです。したがって、これまで誰もこの鐘の音を聞いたことがありません。

大砲の皇帝

1586 年に鑄造された大砲で、口径 890mm、重量 40 トン。前におかれた弾丸は 1 つ 1 トン。幸いにもまだ一度も発

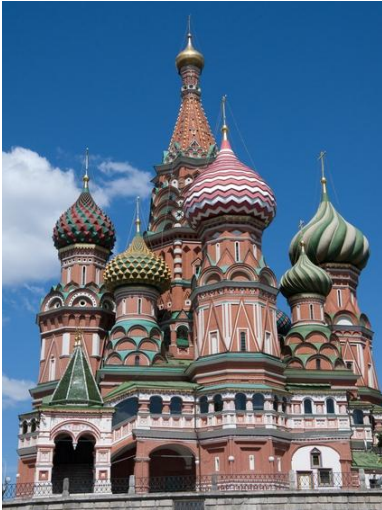


赤の広場

ロシア語でクラスナヤ・プローシヤチ。長さ 695m x 幅 130m の広大な広場です。クラスナヤは、「赤い」と「美しい」の二つの意味をもっていますが、「美しい広場」というほうが元の意味に近いようです。

1493 年、モスクワ大公国のイワン 3 世が、自らの居城であるクレムリンの前の市街地を広場として整理させたのが起源と言われています。以後、モスクワ大公国や、ロシア帝国(ロマノフ朝)の重要な国家行事がこの広場で行われるようになりました。石畳が敷かれて、現在のように整備されたのは 17 世紀後半のことです。

ソ連時代には、革命記念日(11 月 7 日)の軍事パレードが毎年ここで行われ、かつては広場に隣接する『レーニン廟』とともに社会主義の聖地と目されていました。ロシアに変わった今日では、ファッションショーやコンサートの会場、CM 撮影など、広場の商業的利用も頻繁に行われるようになっています(上の写真は、クリスマスツリーで飾られた赤の広場)。



広場に隣接する建物としては、南西側にクレムリンの城壁とレーニン廟、北東側にグム百貨店があり、その南北を、国立歴史博物館と聖ワシリー大聖堂がおさえています。

赤の広場に関連する観光スポットもいくつか紹介しておきましょう。

聖ワシリー寺院(ポクロフスキー聖堂)

聖ワシリー寺院は、1560 年に対モンゴル戦争を記念して、イワン雷帝によって建てられました。赤の広場とセットでよく写真に撮られるロシアでもっともよく知られた寺院です。9つの玉ネギ型ドームと鮮やかな色彩がひととき目立ちます。あまりの美しさに驚いたイワン雷帝が、二度とこのような美しい建物が作られないように、設計した 2 人の技師の眼をくりぬいたという逸話はよく知られています。

グム百貨店

赤の広場に面して、クレムリンの反対側に建つ百貨店。19 世紀末に建てられた工場を改装したもので、内部は吹き抜けになった 3 階建てになっています。ソ連時代は日用品や食料品を売る国営百貨店でしたが、現在では有名ブランド店やみやげ物店、カフェやファーストフード店が並ぶ観光名所となっています。

ヴァスクレセンスキー門

赤の広場の北側の入口で、国立歴史博物館に接して建つ門。もとの門は 17 世紀に建てられましたが、ソ連時代の 1931 年に破壊されて撤去されました。現在の門は、ソ連崩壊後の 1995 年に再建されたものです。門の前には「全ロシア道路の起点」と書かれた標識があります。日本でいえば東京の日本橋ですね。

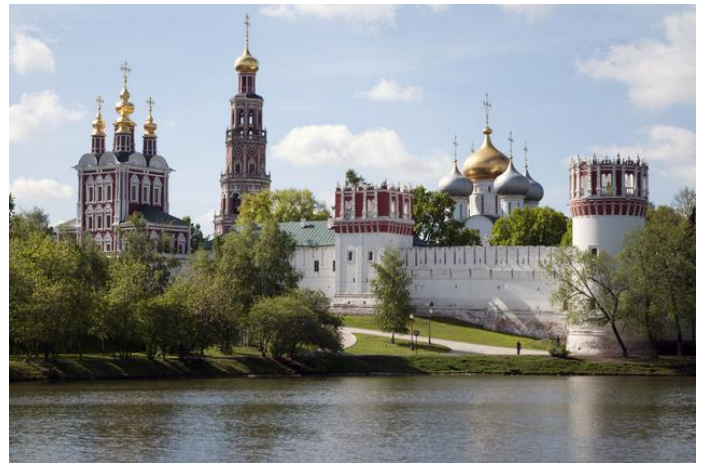
国立歴史博物館

1872 年にアレクサンドル 2 世の命によって設立された博物館で、収蔵品 450 万点におよぶモスクワを代表する歴史博物館です。原始時代から、古代、中世ロシア、そしてロシア革命までのロシアの歴史が展示されています。

なお、革命後の歴史については、トヴェルスカヤ通りにある現代史博物館で扱っています。

レーニン廟

ロシア革命の指導者レーニンの遺体を永久保存する記念館です。レーニン廟の存続をめぐるのは、ソ連崩壊後、賛否両論ありましたが、今でもモスクワの観光名所の一つとして多くの観光客が訪れています。

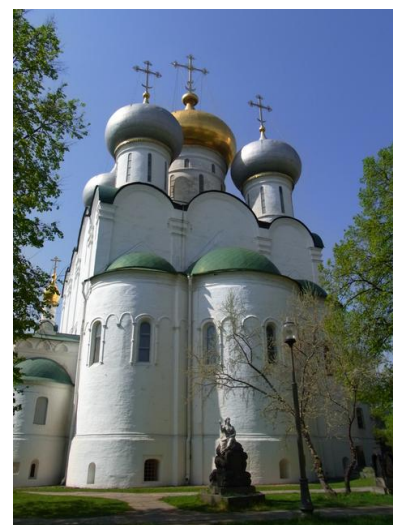


ノヴォデヴィチ女子修道院の建造物群

1514 年にスモレンスク(モスクワ西方 350km)がモスクワ大公国に併合されたのを記念して、モスクワ大公ワシリー 3 世の命で創建されました(完成は 1524 年)。修道院はモスクワ川の湾曲部に建てられ、クレムリンの出城としての役割も持っていたため、城壁で囲まれています。

城壁内には、1525 年建設の**スモレンスキー大聖堂**をはじめ、ウスペンスカヤ教会、門の上のポクロフスカヤ教会、プレオブラジェンスカヤ教会、鐘楼など、貴重な古い建造物が残っています。

城壁の外には湖があり、この湖越しに見る修道院も大変美しく、チャイコフスキーはこの湖を散策しながらバレエ曲「白鳥の湖」の構想を練ったという逸話が伝わっています。湖は冬になるともちろん凍結します。そして、この湖は 19 世紀の間、モスクワで最も有名なスケートリンクでした(トルストイの「アンナ・カレーニナ」にもこの湖のスケートリンクが登場します)。



スモレンスキー聖堂

ゲネフ、ミハイル・ブルガーコフ。音楽家ではドミトリー・ショスタコービッチ、セルゲイ・プロコフィエフ。政治家ではニキータ・フルシチョフ(夫妻)、アンドレイ・グロムイコ(ソ連外相)、ボリス・エリツィン(ロシアの初代大統領)といった人たちがノヴォ

修道院内にはたくさんの墓地がありますが、有名人が多く眠る**ノヴォデヴィチ墓地**は修道院の外、南側の外壁に隣接しています。1930 年代にモスクワの都市改造で多くの墓地がつぶされることになり、多くの有名人の墓がノヴォデヴィチに移されました。

作家・詩人では、アントン・チェーホフ、ニコライ・ゴーゴリ、イワン・ツル

デビッチ墓地に眠っています。

ソ連時代には、修道院は閉鎖され、国立歴史博物館の分館となっていました。修道院内の多くの建物がアパートに転用されたため、これにより建物は建て替えや破壊を免れたと言われています。第二次大戦で苦境に立ったスターリンは、ロシア正教の支援を得るために宗教政策を緩和しました。1943 年にモスクワ神学校が開設され、戦後、大聖堂は信者に返還されました。ソ連崩壊後はふたたび女子修道院として復活しています。

コロームスコエの主の昇天教会

コロームスコエは、モスクワの南、モスクワ川沿いの高台に広がる自然保護公園で、14～17 世紀の教会や木造建築が立ち並んでいます。

コロームスコエの名前がロシアの歴史に初めて登場したのは 14 世紀の初めのこと。その後、歴代のモスクワ大公とツァーリによってこの地に別荘が建てられました。中でも有名なのは、1667 年に建設されたアレクセイ・ミハイロビッチ大公の木造離宮です。この離宮は7つの木造建築と石造りの教会が回廊で結ばれていました。各木造建築には多角尖塔やポーチカ(半円の尖塔)、クーブ(曲線屋根)など、ロシア建築に特徴的な屋根がついていました。離宮には 270 の部屋と 3000 の窓があったと伝えられています。その建物が釘一つ使わずに建てられていたため、諸外国から「世界で 8 番目の不思議」と呼ばれていました。離宮は 18 世紀後半に解体されましたが、当時の 40 分の 1 の模型が残されており、今でも往時をしのぶことができます。

コロームスコエで現存するもっとも古い建物は、1532 年に建てられた**ヴォズネセーニエ教会(主の昇天教会)**です。建築材料は、基礎が石材と煉瓦で、屋根は木造です。右上の写真のように、屋根は玉ネギ型ではなく八角の尖塔となっています。これはロシア正教会の聖堂のもっとも初期の形のひとつだと言われています。

1925 年にコロームスコエは、ソ連政府によって野外文化博物館となり、この地の古い建築が保護されるとともに、国内各地の古い木造建築、石造建築がここに移築されました。

木造建築には、ピョートル大帝が 1702 年に住んだ小屋(アルハンゲリスクから移築)、ニコロ・カレーリスキー修道院の聖門(プロエーズナヤ門)、蜜酒製造所(プレオブラジェンスキー村から移築)などがあります。

また、石造建築には、イアオン・プレチュチャ教会、ゲオルギー鐘楼などがあり、内部は絵画、彫刻、民芸品などを展示する博物館として使われています。

コロームスコエにはモスクワ市内から地下鉄で簡単に行くことができます(「コロームスカヤ駅」下車、徒歩 10 分)。



ロシアの世界遺産 一覧

<文化遺産> ()内は登録年

- モスクワのクレムリンと赤の広場(1990 年)
- サンクトペテルブルグ歴史地区と関連建造物群(1990 年)
- キジー・ポゴスト(キジー島の木造教会建築)(1990 年)
- ノボゴロドと周辺の文化財(1992 年)
- ソロヴェツキー諸島の文化的・歴史的遺産群(1992 年)
- ウラジーミルとスズダリの白亜の建造物群(1992 年)
- セルギエフ・パサドの至聖三者聖セルギイ大修道院の建造物群(1993 年)
- コロームスコエの主の昇天教会 (1994 年)
- クルシュー砂州 (2000 年)
- フェラポントフ修道院の建造物群 (2000 年)
- カザン・クレムリンの歴史的・建築的複合体 (2000 年)
- デルベントのシタデル、古代都市、要塞建築物群 (2003 年)
- ノヴォデヴィチ修道院の建造物群 (2004 年)
- ヤロスラヴリの歴史地区 (2005 年)
- シュトルーヴェの測地弧 (2005 年)

<自然遺産>

- コミの原生林 (1995 年)
- バイカル湖 (1996 年)
- カムチャツカの火山群 (1996 年、拡大 2001 年)
- アルタイの黄金山地 (1998 年)
- 西カフカース (1999 年)
- 中部シホテアリン (2001 年)
- ウヴス・ヌール盆地 (2003 年)
- ウランゲル島保護区の自然体系 (2004 年)
- ブトラナ台地 (2010 年)
- レナ石柱自然公園 (2012 年)

バイルラー(ありがとう)モンゴル バイルタイ(さよなら)モンゴル

西脇邦雄(一般財団法人ジオ政策研究所理事長)

西脇邦雄ジオ政策研究所理事長、橋口哲夫ティグレ連合会理事長ら 12 名のモンゴル訪問団が、8 月 29 日からモンゴルの首都ウランバートルを訪れました。訪問団は、オユン環境大臣と会見し、モンゴルの知的障がい児施設建設への協力寄金(2500 ドル)を手渡すとともに、日本の ODA(政府開発援助)でできたカシミア工場などを見学、また大草原での乗馬トレッキングやツーリストゲルで満天の星空を満喫し、モンゴルの大自然を楽しみました。以下は、西脇理事長からいただいたモンゴル訪問記です。(編集部)

* * *

8 月 29 日から 9 月 2 日まで、ティグレの橋口理事長、韓国商工会議所の高山会長らとともにモンゴルを訪問しました。橋口さんはモンゴル訪問 30 回を超えるベテランで、旅行の企画からアテンドまでしていただき大感謝です。

オユン環境大臣と会談、寄付金を手渡し

今回のモンゴル訪問は、オユン環境大臣が主催するゾルグ財団の知的障がい者施設の建設プロジェクトを支援すること、安原記念財団から「月 5 万円 2 年間の留学生奨学金」の提案を伝えることも大きな目的でした。



到着した日の夜、さっそくオユン大臣と会い、寄金を贈呈。知的障がい子ども達にいい教育ができるように少しでもお役に立てればと思います。留学生奨学金の提案にもとても喜んでいただきました。

通訳のツヨさんの話では、大臣は国民的な人気の持ち主です。

「1 億ドルの国家予算がいまでは 10 億ドルに成長した。ソ連崩壊後の混乱期から日本にはとても大きな支援をいただいている。今後も一層の協力関係に期待したい。」

「若者の教育が重要なテーマ。人口が少なく市場規模の小さいモンゴルでは、他の途上国のように繊維産業などの振

興で経済発展するのは難しい。中国が近すぎる。石炭、銅、銀などの資源輸出をしているが、それだけでなく観光や農業に力を入れたい。」

原発の話になり「政府はウラニウムの輸出を考えているが、輸送ルートの住民が恐れて反対運動が起きている。」

といった話もお聞きました。

私たちの訪問の前の週には中国の習近平国家主席がモンゴルを訪問、20 何項目の協定を提案。帰国の翌日にはロシアのプーチン大統領が訪問と、海のないモンゴルは大国には含まれた中をどう生きるのか？その苦悩も感じさせられました。



ウランバートルは不動産バブル

ウランバートルの空港は壮大な草原の中にありますが、市内に向かって少し車で走ると、マンションの建設現場があらこちで見られます。「1 m² 1300\$」の看板。こんな郊外で坪 40 万円？ 市内中心部には「億ション」が登場しています。どうやら、ウランバートル市内は不動産バブルのようです。(写真は、ウランバートルの観光ポイント、ザイサンの丘から見えるマンション群)

現地で、りんくうゲートタワー IGT クリニックの堀ドクターの次兄、大島博行さんに会いました。モンゴルの自然に魅せられて、1985 年から夏の間のガイドやビジネスアドバイザーをされています。堀ドクターの縁で、大阪府泉佐野市とモンゴル・トウブ県との交流も氏のお仕事。砂漠植林ツアーのガイドなどもされています。

大島さんの話では、「ペレストロイカのあと、政府は国民に

0.7 ㎥の土地所有を認めた。その土地から金や銀、ウラニウムが採れるとなり、ドイツや中国の資本が入り込んで、土地権利書の値段が吊上がりバブル状態になった。」とのこと。いわゆる資源バブルです。「どうして官僚の人が億ションにたくさん入れるのでしょうか？」など、興味深い話を聞かせていただきました。

冬が厳しいモンゴルでは夏の間しか建設工事ができないのですが、建設現場には多くの中国人労働者が働きに入っています。モンゴルにはすでに 4 万人の中国人が住み着いていると言われています。韓国勢も韓流ドラマの放映権を無料にし、まず文化・ファッションからモンゴルの若者に浸透しています。

i phone を持ち、おしゃれなスーツを着こなして、アメリカ留学が流行りの若者達、ロシア語が準公用語の社会主義時代に生きて来た中高年世代、遊牧を中心とする伝統的なモンゴルの生活様式を守る人たち。……。世代ギャップや経済格差の広がりはどこもたどる道なののでしょうか。(写真は、ウランバートル市内のバス停。夕方の帰宅時)



以下、日記風にモンゴル訪問のエピソードを綴ります。

ツーリストゲルでの乗馬トレッキング

2 日目(8 月 30 日)は、ウランバートル郊外のツーリストゲルで一泊しました。

ウランバートル市内から車で 1 時間半ほど走ると、大草原にツーリストゲルが立ち並んでいました。近代的なビル街から、昔ながらのゲル(遊牧民のテント)での生活の落差にまず驚きます。また、昼夜の気温差の大きさも日本の比ではありません。ウランバートル市内では朝は 10℃くらい。吐く息が白い日もありました。昼は 20℃を超えてバスのエアコンが入ります。そして、ツーリストゲルの夜はストーブを焚いて寝ました。夜中に燃料を継ぎ足してくれるはずだったのですが、係の人が明け方にしか来なかったのも、寒くて寝られない人が続出。ダウンに防寒パンツ、毛布に身を包み、明け方 2℃の気温に耐えました。でも皆で見た満天の星は絶景で



写真は案内してくれた少年たち。みな乗馬の名手

した。遠くにあるのにすごく近くに見える山々。夏なのに虫がいません。ゲルの屋根はストーブの煙突が突き出て、丸く空いたままですが、何も入ってきません。それほど自然が過酷なのかも知れません。ツーリストゲルではモンゴル馬に乗ってトレッキングを楽しみました。

「モンゴル馬は、韓国・済州島の馬のルーツ。頑丈でよく働く。元の時代に韓半島に入った。」と同行の高山さん。遊牧民の子供たちは 3 才から馬を操るそうです。私たちのグループには 10 才の少年がついて、巧みに馬を操りながら案内をしてくれました。少年の操る馬はおとなしく駆けるのに、私たちの乗る馬は勝手に走ったり、枝だらけの茂みに突っ込んだり、小川で水を飲んだり、なかなか思うようにいきません。私も隙をみて枝に突撃され、もう 1 人は水飲みながらしゃがまれてズボンがびしょびしょ。モンゴル馬は人に慣れておとなしいと聞いていましたが、馬は人を見分けます??

途中、遊牧民のゲルを訪れて、馬乳酒、ヤギのチーズや生バターをいただきました。ゲルの中では、おばあさんから孫までの共同生活。家畜は 75 頭飼っているけれど、羊や馬

の顔はすべて見分けることができるんだそうです。

ツーリストゲルから亀石(亀の形をした大きな岩)まで往復 2 時間のトレッキングは忘れられない体験でした。



写真、ゲルの中は意外と広い



ウランバートルの市場風景

3 日目(8 月 31 日)は市内に戻り、庶民の市場と百貨店へ行きました。

日曜日だったので、商品運びこむ車と買物客で市場は大混雑。乳製品はさすがにモンゴル製ですが、野菜や果物は中



ケーキ(上)と乳製品(下)

国産。百貨店には大きなケーキが並んでいました。大家族で食べるので大きいらしい。昔は子供 7-8 人は当たり前。ペレストロイカの混乱期は子供が 2 人やっとだったが、い

まは 4 人くらいにもどっているとのこと。モンゴルは 30 代以下が過半数(53%)を占める若い国なのです。なぜかおいしいラーメンの店もあるモンゴルの市場風景でした。

9 月 1 日に新学期が始まる

9 月 1 日はモンゴルの新学期です。モンゴルの学制は 6・3・3 制で、小 1 から高 3 まだが同じ広場に集まって 9 月 1 日に入学と新学期を祝います。早起きしてホテルの周りを散歩していたら、うまくこの新学期風景に出会いました。車での送り迎えも多く広場は大渋滞でした。スマホで両親や祖父母が記念写真を撮り、小さな花を新入生にプレゼントします。どこの国もかわいい子どもの笑顔は宝物です。「この人だれ?」～保護者のような顔をしながら写真をパチリです。



カシミア工場

「私は、日本担当マネージャー、エルヘンバヤル・ツェンゲルズです。大阪では、西川ふとん、カタログハウス、千趣会などにわが社の製品を納めています」。

日本製の機械が動くカシミア工場は、日本政府の無償援助で作られました。製品のブランド名は GOBI。フランス、イタリア、中国、韓国などに輸出されています。すごく綺麗な色彩と、手作業での縫製仕上げ。モンゴル人の繊細な一面が製品に現れています。販売所には旅行客が一杯でした。



伝統舞踊劇場

モンゴル滞在最後の夜は、伝統舞踊劇場へ。1 人の歌手が二つの声を同時に出すホーミーを初めて聞きました。大草原に響き渡るような豊かな声量。肩と手の動きが早く、飛び跳ねるダンス。アクロバット。伝統楽器・馬頭琴の演奏、日本の雅楽のような不思議な面の舞。日本にたどり着いた芸能ルーツを見ているような感覚でした。



* * *

今回の旅行では、JIC 大阪の小原浩子さんに大変お世話になりました。充実した旅行日程を組んでいただき、感謝しています。

モンゴルには、夏の間は成田空港から週 5 便、関西空港からも火曜日と金曜日の週 2 便の直行便が飛んでいます。(冬季は成田・ウランバートル間週 2 便)。今回の旅では、帰国日が直行便の飛ばない 9 月にかかったためソウル経由で大韓航空 (KE) を利用しましたが、ソウル経由、北京経由もふくめて、モンゴルへのアクセスは随分便利になりました(直行便の飛行時間は 4 時間半で、日本との時差は 1 時間)。

現地通貨よりも米ドルが通じるとのアドバイスでドルを持って行きましたが、本当にそのとおりでした。ウランバートル空港には、VIP サービス(1 人=30 ドル?)もあります。一般客とは別に入国審査を受け、バグゲージのピックアップサービスが付いているので、とても楽です。初めての人にはお奨めです。空港からウランバートル市内までは交通渋滞すると聞いていたのですが、結構スムーズに 30 分ほどでホテルに着きました。

日本の 4 倍の面積に、人口はわずか 290 万人。羊の数は 1200 万頭と人間よりもはるかに多い遊牧国家。なだらかな起伏がどこまでも続く大平原。そして日本の大相撲で活躍するモンゴル力士たちの故郷。モンゴルは本当に魅力のある国です。

日本とモンゴルの交流を続けるために、これからも JIC さんと協力して、モンゴル旅行の企画を作っていきたいと思えます。

本の紹介

ロシア縦横無尽

未踏の大国 四輪の旅

池田正弘著／東洋書店刊／定価；2500 円＋税

ロシア NIS 貿易会のモスクワ事務所長を長く務め、昨年 9 月に旅行中の沖縄・与那国島で急逝された池田正弘さんの著書が東洋書店から刊行されました。池田さんはモスクワ日本商工会(現ジャパンプラブ)の事務局長を兼務しており、ジェーアイシー旅行センターも 2006 年にモスクワ事務所を開設して以来、随分お世話になってきました。

池田さんは、1976 年に東京外国語大学を卒業後、ソ連東欧貿易会(現、ロシア NIS 貿易会)に入り、長期にわたってモスクワでの勤務生活を送りました。その間、ロシア各地を訪れ、多くの友人知人を作りつつ、日本とロシアのビジネス関係の発展に尽力しました。

池田さんの足跡はほとんどロシア全土に及んでいます。現在 80 余りあるロシアの州、地方のうち、なんと 60 以上の地域を訪問したといえます。本書は、自らハンドルを握り、車に乗ってロシア全土を走りまわった経験をもとに、著者がそれぞれの土地の印象や出会った人物、エピソードなどを書き綴った旅行記です。

33 項目の目次を見るだけで池田さんが訪れた町や地域の広さと多彩さがよくわかります。

- ・アストラハン — 豊かで華やかな画風を育てた町
- ・ボルガ水源 — 「母なる川」はここから始まる
- ・ノーヴァヤ・イギルマ — タイガの奥地
- ・ムルマンスク — オーロラ紀行
- ・コストロマ — 「黄金の環」の魅力
- ・ハンティ・マンシースク — ロシアのクウェート
- ・ホールイ — ロシアの工芸の里
- ・トムスク — シベリアで最も美しい町
- ・クラスノダール州 — 棕櫚の木が茂る黒海のリゾート、...

「あなたはここに初めて来た日本人だ」。本書には池田さんが地元のロシア人にこう言われる場面がよくでできます。ロシアには外国人が一度も訪れたことのない魅力的な町や地方がまだまだたくさんあります。本書によってロシアの魅力を新たに発見したり、再発見したりする人は多いに違いありません。

旅好きで、人好きだった池田さんの著書に誘われて、まだ行ったことのないロシアの町や村を訪れて、ありのままのロシアを感じてみたいものだと思うのは私だけではないはずです。池田さんのご冥福をお祈りします。(F)

みなさん、朗報です！
いつでもどこでも使えるロシア語
検索アプリが誕生！
日本語の俗語表現や挨拶も調べ
ることができます。

露語ミニ辞典

開発者: Shokichi Abe 阿部昇吉

阿部昇吉先生が、いつでもどこでも使える便利なロシア語検索アプリを開発されました。以下、簡単にご紹介します（このアプリ、日本人だけでなくロシア人にとっても日本語検索にとっても便利です。なので、ロシア語での紹介文もつけておきます。ロシア人の知り合いや友人にも是非、ご紹介ください）。

- ・この〈露語ミニ辞典〉は、日本語の見出し語で 1 万 3000 語、ロシア語の見出し語で 1 万 1000 語、用例は約 7000 を収録してあります。
- ・ロシア語やひらがな、片仮名や漢字を一文字入力しただけで、一瞬で単語の検索が開始されます。また「メモ」からの単語検索も可能です。
- ・「びびる」や「マジ？」などの俗語表現や挨拶など、見出し語としてふんだんに掲載しています。また用例は、日常生活でよく使われるものを選んでいきます。
- ・検索した単語は履歴として残るので、再度調べたい時に重宝します。また必要に応じてマークをつけておくことも出来ます。
- ・掲載単語に独自の註を付けたり、画像を添付したりして、オリジナルの辞典として育て上げることが可能です。註：アクセント部分は赤で表記してあります。動詞の完了体は※印で明示してあります。ë はロシア語キーボードで e を長押ししてください。

Приложение «Русско-японский японско-русский карманный словарь» является самым большим словарём современного японско-русского и русско-японского перевода в AppStore! Словарь содержит более 13000 слов и выражений. В словаре используется "Живой поиск", который

начинает отображать результаты сразу, при вводе первой буквы. Для удобства использования, слова объединены в категории.

Словарь содержит как отдельные слова, так и наиболее употребляемые выражения. (Включая жаргон). Каждое слово или выражение сопровождается примером использования из жизни.

Приложение поддерживает функцию избранных слов. Вы можете пометить нужные Вам слова и они будут выводиться в главном окне. При наборе в поиске нужного Вам слова, избранные слова будут исчезать, а в результатах поиска отображаться все слова соответствующие тексту ввода.

Благодаря приложению «Русско-японский японско-русский карманный словарь» Вы можете просматривать историю просмотров слов, что позволит Вам быстро найти ранее употребляемые слова.

Одной из удобных функций является добавление заметки к слову. Вы можете, как добавить текстовую заметку, так и добавить изображение с камеры, что позволит людям с хорошей зрительной памятью быстро запоминать сложные слова.

Для тех, кто ценит время, добавлена функция автоматической вставки слова из буфера обмена. Интерфейс программы поддерживает два языка: русский и японский.

この App は iPhone、iPad の両方に対応しています。

価格: ¥1,200

カテゴリ: 辞書／辞典／その他

リリース: 2014 年 10 月 16 日

バージョン: 1.1

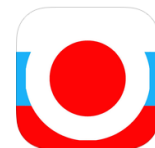
サイズ: 3.9 MB

言語: 英語

販売元: Shokichi Abe

互換性: iOS 7.1 以降。iPhone、iPad および iPod touch 対応。この App は iPhone 5 に最適化されています。

是非、使ってみてください。



追悼・鈴木啓介さん

永遠の教師

鈴木啓介さんが 4 月 16 日に亡くなられた。鈴木さんはロシア語の達人で、経団連の日ソ経済委員会事務局に長く勤められたのち、静岡県立大学さらに九州大学の教授に転じ、後進の指導にあたられた。本人の遺志により、葬儀はごく身近な方々だけで行われたが、6 月 29 日に横浜で、親交があった人たちが集まって「偲ぶ会」が開かれた。これを機に、お世話になった鈴木啓介さんの思い出を、一筆書かせていただきます。

* * *

JIC 国際親善交流センターとしては、1981 年 11 月に大阪で開催した「日ソ経済シンポジウム」のパネラーを鈴木啓介さんをお願いして以来のお付き合いとなる。その後も、「ナホトカ青年の船」(81 年から 91 年まで毎夏実施)の船上講座の講師をお願いし、日ソ経済交流や極東シベリア開発について講演をしていただいた(1985 年、1987 年)。講師として乗船してもらっただけなのに、現地ではちゃんと代表団の通訳をお願いしたり、青年交流や現地視察のプログラムについても適切なアドバイスをいただいた。

また、当時、JIC 会長だった上田卓三衆議院議員が国会質問で日ソ関係を取り上げるときは、必ず鈴木さんに連絡してご意見を伺った。米ソ冷戦に引きずられてソ連(ロシア)との経済交流の拡大が思うようにできなかった当時の経済界の不満と本音を拾い上げ、上田会長がポイントをついた国会活動で日ソ関係の改善に取り組むことができたのは、鈴木啓介さんのお力と援助によるところが大きい。

「君んとこの先生はいいよな、怖いものなしだから。本当に勇気があるよ。他の議員なんて、日ソ関係で何か発言するとすぐに右翼が街宣カーでワァワァ言いに来るから、『票が減る』のを恐れてシュンとなっちまって、全然頼りにならねえんだ。」と、鈴木さんも上田会長を頼りにされていた。

大学の教師に転じられた後は、JIC のロシア語留学を教える子の学生たちに薦めていただいた。実際、鈴木門下生の何人かが JIC を通じてロシアに留学し、現在も日露関係の前線で活躍されている。

* * *

九州大学を定年退官される前だったか、後だったか定かではないが、新橋の鈴木さん行きつけの居酒屋でお会いした時に、「おい、シルバー・ボランティアをやるんだ。君んとこの日本語教師インターンシップに参加させてくれよ。」と切り出された時には驚いた。旧七帝大の教授であれば、退官後、私学の教授ポストは引く手あまたのはずなのに、それを全部蹴っ飛ばして、ロシアか中央アジアで日本語教師をやりたいというのだ。当時、JIC ではロシア・旧ソ連諸国への民間支援事業として、

日本語教師のボランティア派遣に取り組んでいた。基本的には、大学でロシア語を勉強している学生あるいは卒業直後の青年を対象に、現地で日本語を教える代わりに、その報酬をロシア語の授業と宿泊(学生寮)で受け取るというもので、給料は出てもごくわずか、せいぜい月額 50 ドル～100 ドル程度だった。鈴木先生はもちろんロシア語の授業など必要ない上級のロシア語話者だ。逆に、日本語だけでなく、専門の国際経済や日ロ経済の講義をやってもいいとおっしゃる。「高齢者でも社会に貢献する方法はあるはずだ。かつてソ連やロシア語と関わった同年輩の仲間のシルバーボランティアの先駆けになるんだ。」という熱意に押し切られて、日本語教師インターンシップに参加していただくことになった。

記録をたどると、JIC では 1996 年にクラスノヤルスク大学に日本語教師を派遣したのを皮切りに、1997 年にはニジノブゴロド言語大学、モスクワビジネス経営大学、ペテルブルグ第 83 学校(通称バラの学校)、キルギス国立大学、カザフ外国語大学、カムチャツカ国立海洋アカデミーなどに教師を送り出している。

カザフ外国語大学で 1996 年 3 月から日本語を教えていた西川直広さんが、ちょうど 1 年半の契約を終えてウズベキスタンに移るのと入れ替わりに、97 年 11 月から鈴木啓介先生がカザフ外国語大学に赴任されることになった。「カザフの受け入れ態勢はひどいですよ」という西川さんの忠告通り、カザフ外国語大学では散々の目に遭って、結局、西川さんの後を追ってウズベキスタンの大学に移られることになったが、どこに行っても学生を可愛がること尋常ではなく、ほとんど無きに等しい報酬で講義を続け、学習意欲のある学生への時間外講義や日本留学の世話など、教育活動に情熱を注がれた。

JIC の日本語教師インターンシップはその後 2000 年代初めまで細々と継続したが、現地の受け入れ条件が十分に整わない中で日本側のボランティア精神にだけ頼るのはおのずと限界があったこと、同時に日本外務省の対ロシア支援事業に日本語教師派遣が組み込まれ、給料などを日本政府が支給する形できわめて条件の良い派遣条件が拡大したこと、この二つの要因によって終息せざるを得なかった。しかし、この取り組みは、「形を変えたロシア語留学」という側面を持ちつつも、ソ連崩壊後の社会的経済的混乱の中で、ロシア・旧ソ連での日本語教育熱をボランティアで支えるという、まさに JIC らしい活動の一つだったと今でも思っている。「JIC らしさ」を大人の立場で支え、励ましていただいた鈴木先生に今も感謝している。

(2014.7.30 記／伏田昌義)

【鈴木啓介さん略歴】

1934 年生まれ。東京外国語大学ロシア語科卒業。西日本新聞社記者、商社勤務などを経て、経団連日ソ経済委員会事務局。1988 年静岡県立大学教授、1992 年九州大学教授、1997 年定年退官後、「シルバー・ボランティア」として、カザフ、ウズベクで日本語教師。2014 年 4 月 16 日永眠。

《ジーマの町を歩けば》

ドミトリー・トカチェンコ (タリン大学・院生)

ヘルシンキ-ペテルブルグ間は 高速列車アレグロ号で

ご存知だと思いますが、ロシアはとても広い国で、鉄道の車両は伝統的に座席車よりも寝台車が多いです。列車の旅は、家族や友達と一緒に乗って、乗り合わせた他の乗客とおしゃべりして、家につくった(もしくはお婆さんに作ってもらった)食べ物を持ちこんで、乗務員に紅茶を作ってもらって飲むという具合に、列車の車両は賑やかで、全くソ連時代の共同アパートに似た感じでした。知らない人と同じ部屋で寝起きをともにすると、おもわず同じ家族のように感じることもあったのではないかと思います。

ただし、最近はビジネス旅行が多くなり、長い距離や時間を短縮するために、旅の便利さを追求することが優先されるようになりました。昔と違って、隣の人と話をしようとしないう旅人が増えました。目的地までの行程を短くして、途中でできるだけ事件がないようにするやりかたです。昔の「寄り道旅行」や「冒険旅行」とは全然違いますが、便利にはなりました。



10 月にヘルシンキからペテルブルグにアレグロ号で行きました。ヘルシンキ - ペテルブルグ間の距離は 400 キロほどで、通常は4時間で行ける距離ですが、途中でフィンランド(EU 連合)とロシアの国境があるので、両国のパスポート検査、税関検査で結構時間がかかります。列車の場合もそうです。

最近、ウクライナ問題をめぐる対ロ制裁でヨーロッパからロシアへのチーズや肉の輸入が禁止されたので、ペテルブル

グ子の中でいわゆる「食料品ツアー」が人気になりました。もちろん、持ち込める食料品の量は限られており、その検査をロシアの税関がおこないます。

2010 年までは、ヘルシンキ-ペテ



ヘルシンキの鉄道駅

ルブルグ間を「ヤン・シベリウス」という列車が約 6 時間かけて走っていました。6 時間のうち 2 時間は国境検査でした。フィンランドのヴァイニッカ市と、ロシアのヴィーボルク市で、その検査は大体1時間ずつかかりました。

2010 年末からは「アレグロ」という高速列車が走っています。移動時間は3時間36分です。まず、フィンランドの国境守備兵はヴァイニッカの前の駅で列車に乗って、列車が



走る間に検査をして、ヴァイニッカで降ります。列車がロシアに入ると、ヴィーボルクでロシアの国境守備兵が乗って、同様に列車が走る間に検査をしてペテルブルグで降りるのです。さらに、シベリウス号と違って、アレグロ号の速度は

220 キロです。おかげで乗車時間が大幅に短縮されました。

ヘルシンキからペテルブルグまで飛行機だと1時間ですが、チェックインの時間や中心部から空港までの移動の手間などを考えると、アレグロ号の方が便利です。アレグロ号は、もともとフランスのアルストム工場で製造されるイタリア企画の列車車両です。もちろん、フィンランドとロシアは北国なので、気温が零下 40 度でも走れるタフな列車です。

アレグロ号はヘルシンキ-ペテルブルグ間を1日 4 往復しています。乗車券は、一等 134 ユーロ、二等 84 ユーロです。食堂車にはバーもあり、軽食もとることができます。チケットは出発地のオペレーターの WEB サイトで購入できます(E チケット)。私はヘルシンキ発だったので、フィンランド共和国鉄道(VR)のサイト(www.vr.fi)で買いました。もちろん、鉄道駅では紙のチケットを購入することができます。

19:00 にヘルシンキ中央駅を出て、ロシア時間(+1時間)の 23:36 にペテルブルグのフィンランド駅に到着しました。旅は楽しかったです。アレグロは、イタリア語で「allegro」=「楽しい」と意味します。フィンランド-ロシアの旅はアレグロ号がおすすめですよ！

生まれ変わったソチ

2014年冬期オリンピックが行われたソチで、この11月20日～23日にWRO(World Robot Olympiad = 国際ロボット競技会)が開催されます。日本から120名の代表団がモスクワ経由でソチを訪れる予定で、JIC がそのグループの旅手配をすることになりました。そこで9月下旬にJIC 東京の神保さんと一緒にソチへ下見に行ってきました。



ソチは、南ロシアの黒海北岸のリゾート地です。ロシアは北国なので、タイやハワイのような暖かい海とビーチはありませんが、ロシア最南のコーカサス山地と黒海の間に位置するソチは、ロシア唯一の亜熱帯地方なのです。ロシアの総面積(1700万平方キロ)の5000分の1に過ぎないのですが、ロシア人でも外国人でもはじめてソチに行く人は、「あれ？これロシア？温かいねえ」と思います。ソチに行くと、たしかに暖かい海があって、高い山があって、厳しい雪の冬はなくて、……、普通の大平原のロシアのイメージと全く違います。

現在ソチが位置する地方には、19世紀の半ばまで独立のアディグ人(チェルケス人)という山岳民族が住んでいました。彼らは黒海南岸の同じイスラム教のオスマン帝国(トルコ)との交易で生活を立てていました。ロシア帝国は、19世紀に北コーカサスまで領土を拡張して、アディグ人を黒海沿岸からコーカサス山脈の北の平地やオスマン帝国に追放し、19世紀後半から20世紀初めにかけてロシア人やウクライナ人、同じキリスト教のアルメニア人やギリシャ人を入植させました。そして社会主義革命(1917年)の後、ソビエト政府はソチを保養地としてリゾート開発しました。特別な許可がない限り外国に行くことができなかったソ連時代には、休暇に多くのソ連人がソチに行きました(*もう一つの人気のある保養地はクリミア半島でした)。

夏休みもソチ、恋人とのロマンチックな旅もソチ、新婚旅行もソチ、……、長く寒い冬にうんざりしたロシア人は、いつも暖かいビーチリゾートの天国を夢見ていました。ソ連人に

としてはその天国がソチでした。

ソ連崩壊後、ロシア人はお金さえあれば、自由に外国に行けるようになりました。エジプトやトルコ、タイなどに行ってみると、海はソチの黒海より暖かいし、施設は立派だし、サービスのレベルも高いことが明らかになりました。しかも、ソチより値段が安い所すらあります。そのため、ソチをやめて外国に行く人が増えました。

ソチのもうひとつの特徴は、海岸から60キロも内陸に入ると2000メートル級の山があって、冬にスキーができることです。夏も冬も有望なリゾート資源があることはソチの大きな魅力です。しかしながら、当時は海岸部と同じように、スキー施設は外国と比べて失敗、貧弱、不便。

ということで、2007年に冬季オリンピックの2014年ソチ開催が決定されたわけです。

私は2006年と2009年にソチに行ったことがあります。今回、冬季オリンピック開催後のソチに初めて行くことになって、以前とどういいう変化があるか、とても楽しみにしていました。行ってびっくりするか、行ってがっかりするか、……。そして、



いよいよ9月22日にソチのアドレル空港に到着しました。

ロシアのマスコミでよく言われるのは、「オリンピックは、地理的にはソチけれども、実際には5年間でゼロから作られた新しい町で開催されたということです。確かに、オ

リンピックの施設は、黒海の近くの元は沼地だった場所に建設されたのです。地理的に言えばソチのはずれです。

到着してまずびっくりしたのは近代的な空港ターミナルですが、つぎに空港からホテルに向かうと立派なオリンピック施設の灯が見えて、その全景がとても印象深かったです。

私たちが泊ったホテルも新しかったです。ホテルから10分ぐらい歩くともう黒海の岸です。ビーチには、あっちこっちに通じるプロムナードがあり、自転車と人が行き来していました。「ロシア最南のビーチ」というポスターがあって、確かに南1キロ先にはロシア・アブハジアの国境があります。

オリンピック・パーク～ソチ中心部～空港～クラスナヤ・ポ



リャーナ(山岳地区)の間には、急行列車が走っています。以前は、曲がりくねった山道を通して、車かバスでしか山岳地区に行けなかったのですが、今では立派な高速道路が通り、鉄道路線が整備されて、とても便利になっていました。クラスナヤ・ポリャーナに着いたら、ロシアではなくまるで日本か外国にいるような気がしました。新しく生まれ変わったソチを見て、私はとても嬉しくなりました。

新しく建設されたオリンピック施設や高速道路とともに、以前のソ連時代のペンションがいっぱい建ち並ぶリゾート地ソチ。冬季オリンピックのホストを無事終えて、これからはスポーツをはじめ様々なイベントでお客さんを歓迎することでしょう。

モスクワ、ペテルブルグ、ヴラジオストックに続いて、ロシアでもう一つの新しい都市が外国のお客さんにオープンされた！これがソチを 5 年ぶりに訪れた私の感想です。空港や鉄道、道路、ホテルといった観光インフラが整備され、人々の行き来が活発になり、その地方の歴史・文化・地理に触れる機会が増えれば増えるほど、私たちの世界もより平和的になるだろうと思います。

最近の噂では、近いうちにソチ空港は「オープンスカイ」制度が適用され、ビザ無しで 3 日間の滞在が許可されるようになるそうです。楽しみです。

リガの旅

今年 1 月の話ですが、ラトビアのリガに行ってきました。モスクワに住んでいる私の友達が、リガ郊外のバルテゼルス市(Baltezers)に別荘を持っていて、エストニアに近いので遊びに来ないかと誘ってくれたのです。

タリンからリガまで車で行きました。距離は 300 キロぐらい。車で 4 時間半かかります。エストニアとラトビアは同じシェンゲン協定加盟国なので、国境はあるけれどパスポート検査や税関はありません。

ご存知の通り、リガはラトビアの首都です。人口 70 万人で、バルト三国最大の都市です。その人口の 47% はラトビア人ですが、40% がロシア人です。半分ロシアの町と言ってもいいくらい、リガの町を歩いているとラトビア語もロシア語もよく聞こえます。かつてラトビアはソ連の一部でした。ソ連時代には、生活水準のより高いラトビア共和国に多くのロシア人が働きに行きました。当時、ラトビアを含めたバルト三国は「国内の海外」と言われました。ソ連崩壊後、ラトビアは独立

し、EU(ヨーロッパ連合)に加わりました。ラトビアで市民権を持つロシア人は自由にヨーロッパで仕事ができるようになったので、先祖の国であるロシアに戻らない人が多いのです。

バルテゼルスからリガの中心部までは車で 30 分。地下駐車場に車を置いて、リガの散歩を始めました。

新市街のアルベルト通り(Alberta iela)は、ユーゲント・シュティールの逸品が並ぶ、気持ちよくて歩きやすい一角です。アルベルトはリガの創立者の名前で、ユーゲント・シュティールとは、ドイツ語で Jugendstil (青春様式) といい、いわゆるアール・ヌーヴォーを意味しています(注)。簡単に言えば、その原則は、直角や直線のかわりに自然の屈曲を使うことです。特に植物や動物の像が人気でした。アルベルト通りには 19 世紀から 20 世紀初頭にかけて建てられた 8 つのユーゲント・シュティールの建物があり、そのうちの一つの中には博物館があります。

リガの中心部をダウガヴァ川が流れています(ダウガヴァはラトビア語の名前で、ロシア語ではザーパドナヤ・ドビナです)。ユネスコ世界遺産に登録されているリガの旧市街は、ダウガヴァ川の右岸に位置しています。12 世紀ごろからドイツ人商人の入植が始まり、ハンザ同盟の都市として栄えたリガ旧市街には、当時の教会や商人の家がひしめくように建ち並んでいます。私たちは聖ペトロ教会の尖塔にある展望台に上りました。70 メートルぐらいの高さですが、旧市街や

ダウガヴァの魅力的な景色がよく見えます。旧市街は年末のクリスマス・マーケットの時期に一番賑やかとなります。冬に来ると、聖ペトロ教会の上は風が強くて寒いので、下においてホット・ワインを飲むのがお薦めです。

一日歩き疲れて、「3 つのナイフ」という名前のレストランに行きました。旧市街にある多国籍料理のレストランです。メニューは少ないけど、皆オリジナルな味です。ウェイターもとても友情的でした。夜中に車でバルテゼルスに戻って、翌朝タリンに帰ってきました。

ところで、リガは 2014 年のヨーロッパ文化首都のひとつです(もう一つの文化首都はスウェーデンのウメオ市です)。それに関わるプロジェクトがラトビア国立図書館の新ビル建設で、外形はバルト海の波か海辺の砂丘を思わせます。そのコレクションにはロシア語の文献もたくさんあります。もうひとつのプロジェクトは、元発電所の建物の中に造られた近代美術館です。また、リガへ行きましょう。

注;アール・ヌーヴォー(フランス語: Art Nouveau)は、「新しい芸術」を意味する。19 世紀末～20 世紀初頭にヨーロッパで流行した美術運動。植物模様や自由曲線を組み合わせた装飾や鉄やガラスといった当時の新素材の利用が特徴。分野は、建築、工芸品、グラフィックデザインなど多岐にわたる。



リガの旧市街



【ロシア生活 不思議体験】 (その 1)

『お客様』



白井 秀治 (JIC 東京)

20 年前、僕はロシアに留学していた。

留学していた僕は大学の寮に住んでいた。

毎週末繰り広げられるヴェチェリンカ (学生パーティー) では数え切れないほどのビール瓶、タバコの煙、大音量の音楽、それ以上の酔っぱらった学生の大声がフロア全体を覆っていた。多国籍の学生寮、それはそれで楽しい週末だった。

ただ、大学三年時からのクルサバヤ・ラボータ (進級論文) や学位論文を本気で書くには、集中力に欠ける環境のため寮を去ることに決めた。多くの友達が大学寮に残るため、寮からそれほど離れていないクバルチーラ (アパート) に引っ越した。

静かな環境に移った三年生の秋、夏前までの騒々しさが少々懐かしく感じられる毎日だった。9 月も半ばにもなると同じような理由で引っ越したフランス人の友達が週末に昼過ぎから僕のクバルチーラへとやってくるようになった。恐らく、僕と同じような感覚にあったのだろう。

「Как дела? (カーク・ジェラー?)」

調子はどう?

「Нечего нового... (ニエチヴォー・ノーヴァヴァ)」

特に何も...

「принесла (プリニエスラー)」

持ってきたわ。

「знаю... (ズナーユ)」

知ってる。

という何となく村上春樹的な会話から始まり、僕たちはたわいもない話をし、チップスを食べながらビールを夜中まで飲み続けた。

そんなある週末、朝から誰かが僕の家のドアをノックした (呼び鈴が鳴らないことが多い)。いつもの友達だろうとドアを開けたが、そこに立っていたのは、季節外れの黒のタイトなミニスカートに、白いブラウスのボタンを胸元まで開けた髪の長い 15 歳位の知らない女の子だった。おまけに、彼女の足元には茶色のミニチュアダックスがいた。

「.....」 突然の見知らぬ来客に僕は言葉を失った。

「паспорт (パースパルト)」 数秒たってから彼女は言った。

パスポート

「...?」

「покажи паспорт, говорю! (パカジー・パースパルト・ガヴァリュー!)」

パスポートを見せてって言ってるの!

「зачем? (ザチェム)」

なんで?

「Ты Китаец или кореец? (ティ・キターエツ イーリカレーエツ?)」

あんた中国人それとも韓国人?

当時、韓国人留学生がたくさんいた。

「Нет, японец (ニエート、ヤポーニエツツ)」

いや、日本人だけど...

「не верю! (ニエ・ヴェーリュ)」

信じないわ!

「.....」 なんのこっちゃ? と心の中でつぶやいた。

時間も凍りついていて僕の家のドア。

そんなところに、何も知らないフランス人の友達が大量のビール瓶をいつものようにビニール袋に入れて現れた。友達の頭に後光が差しているように見えた。

「Гость? (ゴースチ)」と友達。

お客さん?

「Сам не знаю (サーム・ニエ・ズナーユ)」僕は即答した。

自分でも分からない

「Он японец?? (オン・ヤポーニエツツ)」彼女は僕を親指で指しながら訊いた。

この人、日本人なの?

「Да, японец. А я французенка (ダー・ヤポーニエツツ. А・ヤー・フランツージェンカ)」

そうよ。で私はフランス人。

「Очень приятно. А у Вас бутылки? (オーチン・プリヤートナ А・ウ・ヴァス・ブッティールキ)」

よろしく。ビールあるの?

『なんでそこで態度が大きく変わるんだ!』僕は声を出さずに言った。

「Ну... Да..заходи к нам (ヌ...ダー...ザハジー・ク・ナーム)」 友達は僕の家のキッチンへ行った。

そうね...んじゃ...おいで。

「Спасибо (スパシーバ)」

どーも。

「……」 やれやれ。なんでお前がそう言うんだよ！と友達に僕は目で訴えたが、彼女とミニチュアダックスは既に部屋に入り込んでいたのは言うまでもない。

もちろん、僕たちは何もしゃべらなかった。

ミニチュアダックスを連れた彼女はビールを1本と煙草を2本吸ってから出て行った。

「Кто она? (クトー・アナー)」 友達が訊いた
だれだったの？

「Не знаю (ニエ・ズナーユ)」

知らない。

「Ну Давай! За госты! (ヌウ・ダヴァイ! ザ・ゴースチ!)」 友達が言った。

それなら彼女に乾杯!

「За госты (ザ・ゴースチ)」僕は復唱した。

彼女に乾杯

その後、彼女と一緒に無言で数回飲んだ。

ミニチュアダックスを連れてくる女の子は初回だけだった。

彼女は僕をヤポーネッツ (日本人) と呼んだ。

僕は敢て彼女の名前は訊かなかった。

彼女も名乗らなかった。

あれから20年以上経つ。

彼女は何をしているのだろう。

時々思い出す。

◆◆編集後記◆◆

▼今年もあっという間に1年が過ぎようとしています。以前は夏だけがとても忙しく、それ以外は割と暇だったのに、最近は年中せわしないように感じます。これは仕事が増えたからか、それとも年ごとの老化で労働効率が低下しているからか、…。▼会社も人も1年ごとに年を重ねるのは避けられません。しかし、年をとったからといって、即、老いにつながるわけではありません。「青春とは人生のある期間ではなく、心の持ち方を言う。歳を重ねただけでは人は老いない。理想を失う時初めて老いる」(ウルマン「青春」)。この言葉を励みに、夢を追い続けたいと思います。▼少し早いですが、来年もよい年にするために、皆さん、今から頑張りましょう! (伏田)

※※JICのロシア語留学・研修※※

25年間の実績「だから、JICのロシア語留学」

JIC ロシア語留学研修は、JIC 国際親善交流センターが日本で最初に旧ソ連・ロシアの諸大学と直接契約により開始した私費留学システムです。この25年間でJICがロシアに送り出した留学生は長期・短期合わせて2,800名以上にのぼります。

安心の現地アフターケア

留学中はできる限り自分のことは自分でやっていただくのが語学力上達の道です。しかし、一人ではどうしても解決できない大学との交渉ごとや、緊急事態の際の連絡対応など、留学される皆様をバックアップするために、JICでは各受入機関と緊密な連絡体制を整えています。

ロシア語長期留学4月生・募集中



**締切間近です
今すぐお申し込みを!**

**期間：2015年4月1日より10ヶ月
締切：2015年1月16日(金)**

モスクワ国立大学 922,500 円(授業料 10ヶ月)

サンクト・ペテルブルグ国立大学 823,000 円(授業料 10ヶ月)

ウラジオストク極東連邦大学 508,000 円(授業料 10ヶ月)

※上記の金額以外に別途、寮費、手配料、渡航費用、ビザ代金および取得手数料などがかかります。

◆JIC ロシア留学デスク◆

ロシア留学・旅行のお問合せ・ご相談に応じます。
お気軽にお越しください。

東京事務所 平日 9:30-18:00 03-3355-7294

大阪デスク 平日 9:30-16:00 06-6944-2341

※必ず事前にご予約ください

1~4月の予定

14年12月13日 留学相談会

●12月29日 年末仕事収め

15年1月5日 新年営業開始

1月16日 長期留学4月出発生申込み締切

3月上旬 長期留学4月生 事前説明会

4月上旬 長期留学4月生 出発

4月上旬 JIC 東京ロシア語講座 スタート!

JIC 大阪ロシア語講座 スタート!

最新情報は JIC のホームページに随時掲載します。
その他のロシア情報も満載です!!